

# 宇宙産業分野の人的基盤の 強化に係る取組状況について

平成 29 年 11 月 13 日  
製造産業局 宇宙産業室

# 1. 宇宙以外の分野からの人材の呼び込み

- 国内の人的基盤を強化するためには、宇宙産業以外の幅広い分野からの人材の呼び込みが重要。
- こうした中、経済産業省では、S-NETを通じたネットワーク強化や、SERVISプロジェクトの宇宙用部品補助事業を通じた宇宙以外の分野からの企業の新規参入支援を実施中。
- また、NEDOの強みである事業マネジメントに係る知見を活用すべく、SERVISの補助事業執行を来年度からNEDOに移管。今後、JAXAとNEDOの協力のあり方を検討し、宇宙分野の専門的な知見等をNEDOにも蓄積していくことで、事業支援側の人的基盤強化を図る。

## S-NETの取組

宇宙産業以外の人材の巻き込みの促進を図るため、内閣府・経済産業省が事務局となり、各地の経済産業局のネットワーク活用や地元自治体の協力も得ながら、地方分科会（本年度3回開催）等を実施。宇宙ビジネスに新規参入した宇宙系以外の産業（IT、不動産、農業等）や地域の大学等の登壇・参加により、宇宙ビジネスの裾野拡大を図った。本セミナーを契機として、地域独自の宇宙産業拡大に向けた取組が進みつつある。

（開催実績）

北海道（7月21日）：117名が参加。農業、IT分野等の事業者が登壇。  
福井県（10月13日）：248名が参加。不動産、IT分野等の事業者が登壇。  
※来年1月19日（金）に沖縄県でも開催予定。

（北海道セミナー風景）

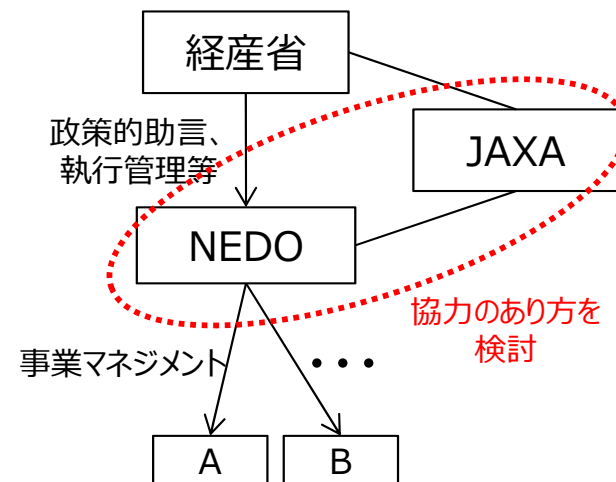


（福井セミナー風景）



## SERVISの取組

- 今年度から開始したSERVISの宇宙用部品補助事業において、11社からの提案を採択。そのうち2社は、宇宙分野への新規参入。
  - ✓ 高砂電気工業(株)：これまで医療機器等向けのバルブを製造・販売。本事業の支援により、医療機器用バルブで培った技術を活かし、軽量かつ低価格な小型衛星用バルブの開発を行う。
  - ✓ (株)イーグステクノロジーズ：様々な汎用センサーを1チップ化した自動車搭載用の極小型記録計を開発。本事業の支援により、当該製品技術の小型衛星への適用のための開発を行う。
- 本事業の執行は、来年度からNEDOイノベーション推進部に移管。事業マネジメントに係る知見等、NEDOの強みを活かしたベンチャー・中小企業の支援促進等が期待。
- また、JAXA、NEDOの連携によるシナジーを生み出すため、JAXA・NEDOの協力のあり方についても検討中。



## 2. 宇宙産業の人材に関する動向調査

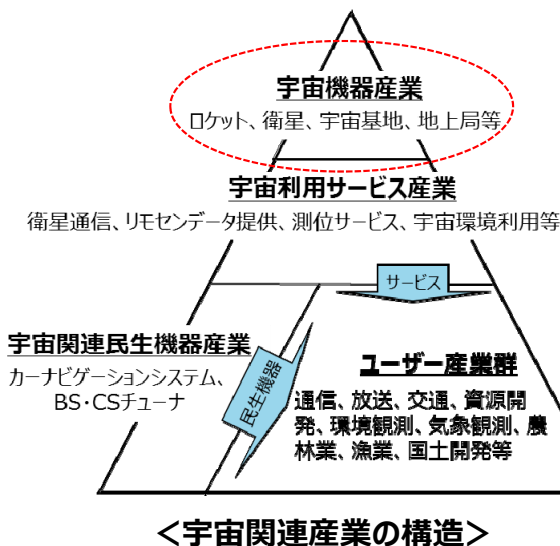
- 日本の宇宙産業分野における従業員数は、漸増で推移。一方で、欧米に比べて人材が少ない現状に変わりはなく、「宇宙産業ビジョン2030」でも、中長期的な人的基盤の総合的な強化の必要性が指摘されている中で、効果的な対応策の検討が必要。
- 経済産業省では、内閣府とも連携し、宇宙産業の人材の実態を把握するため、需要サイド及び供給サイドのJAXA・大学・民間企業等へのヒアリング・調査を今年中に開始（一部先行してヒアリング実施中）。その結果も踏まえつつ、今後、人材の流動性向上等の対応策の検討を進める。その際には、データ利用促進の観点も柱とする。

### 「宇宙産業ビジョン2030」[平成29年5月29日,宇宙政策委員会]

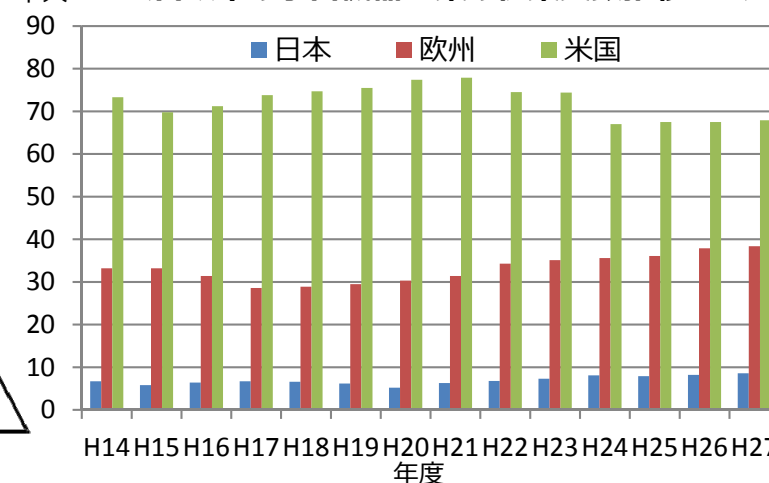
#### <人材に関する対応策>

宇宙産業の人材の課題に対する対応策としては、成功事例を創出し、様々な人材に対して宇宙の認知度を高めることが第一歩である。S-NETや宇宙開発利用大賞といった取組に加え、「4.2.1 継続的な衛星開発（シリーズ化）」でも述べたように、市場ニーズに対応した継続的な技術開発・実証を行い、宇宙産業の規模を拡大させていくことが重要である。また、S-NET活動を通じたネットワーク強化により、宇宙に関連した人材を求める側と宇宙に知見のある人材の結びつきを高めることになる。こうした積み重ねは、人材の流動化を高めていくことにも資する。

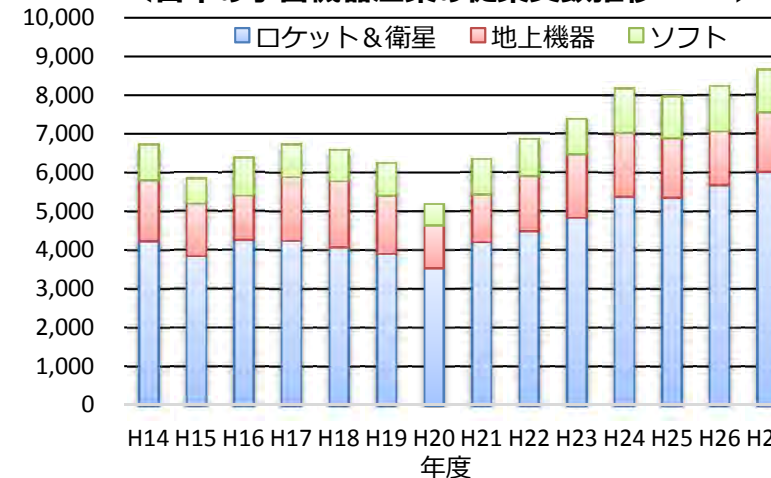
また、宇宙分野への積極的なIT人材の巻き込みに向けては、先述した社会モデル実証事業において、非宇宙分野のIT事業者等を積極的に巻き込んでいくことから始めていく。IT事業者が実証事業の実施主体として中心的な役割を担うスキームとすることで、IT人材にスポットを当て、多様なIT人材が宇宙産業に関心を持つような取組とするべきである。



千人 <日欧米の宇宙機器産業の従業員数推移[※1]>



人 <日本の宇宙機器産業の従業員数推移[※1,2]>



[※1] (一社)日本航空宇宙工業会が平成28年度宇宙産業データブックをもとに作成。[※2]「ロケット&衛星」は、「ロケット、人工衛星、宇宙機、宇宙ステーション」、「地上機器」は、「地上施設に係る機器、部品、材料」、「ソフト」は、「ソフトウェア等の製造及び打上げサービスと運用管制」に係る開発・製造等の職種に属する従業員をそれぞれ集計。